

十二単

ひめみこ

もぎ 装着の儀

二〇二三年十月十日(火)

渋谷で

十二単が

できあがるまでを

見る体験



十二単ひめみこ装着の儀

渋谷セルリアンタワー能楽堂

2023年10月10日(火)

午前の部 開演11時(開場10時30分)

午後の部 開演13時30分(開場13時)

国際文化学園 衣紋道 東京道場

国際文化学園 衣紋道 東京道場

KOKUSAIBUNKA

TECHNICAL COLLEGE OF HAIRDESIGN

TOKYO

SHIBUYA / KOKUBUNJI

十二単ひめみこ 裳着の儀

2023年10月10日(火)



◆主な出演者◆

腰結こしゆい 前衣紋者 庄司礼子
後衣紋者 永富百合香
お髪上げかみあげ 設楽小夜子
忍足絢美
姫君 高木里央奈
解説 佐藤美奈子

裳着の儀とは

十二単は、平安中期以降、鎌倉室町時代、成人女性の晴れの装束、宮中の儀礼服として、宮廷装束のなかでも最高位のものでした。正式名称を「五衣・唐衣・裳」といい、その言葉どおり、単の上に五衣、さらに打衣、表着、唐衣を着けます。そして一番最後に、唐衣の背に着けるのが「裳」。十二単の後ろ腰に長く引いてある衣のことです。宮中や公家の姫君は、「裳」を初めて身に着ける「裳着の儀」をへて、大人の女性の仲間入りをしました。現代の成人式にあたる儀式です。「裳着の儀」では、十二単を着ける「腰結」と、髪を結い上げる「お髪上げ」が行われます。なかでも「腰結」のお役目は重要で、位の高い方や母君など、主役の姫君と縁の深い方がつとめました。時代が移り、女性の成人のかたちはずいぶん変化しました。しかし現代においても、十二単における「裳」は、成人した大人の女性であることを表しています。

セルリアンタワー能楽堂

2023年10月10日(火)

午前の部 開演=11時(開場10時30分)

午後の部 開演=13時30分(開場13時)

◆チケットの申込み・問合せ先

国際文化学園 衣紋道 東京道場

東京都渋谷区神泉町6-1 国際文化学園 8号館

電話: 03-5459-0075 FAX: 03-5459-0076

インスタ: @kb_heian メール: siryokan@kokusaibunka.ac.jp

料金 (税込み)

S 席 (正面) 8,000円

A 席 (脇正面) 7,000円

B 席 (中正面) 5,000円

学生席 2,000円

◆公式LINEはこちら→

◆LINEからの

申し込み・問合せ→



セルリアンタワー能楽堂

※こちらからチケットの申し込みはできません



国際文化学園 衣紋道 東京道場

KOKUSAIBUNKA
TECHNICAL COLLEGE OF HAIRDESIGN

TOKYO
SHIBUYA / KOKUBUNJI